

# やすらぎ



## 「歎異抄」(第十九回)

標 暁 講述

「歎異抄」 第十章 続き  
 そもそもかの御在生のむかし、おなじころざしにして、あゆみを遠遠の洛陽にはげまし、信をひとつにして心を当来の報土にかけしともがらは、同時に御意趣をうけたまわりしかども、そのひととにともないて念仏もうさるる老若、そのかづをしらずおわしますなかに、上人のおおせにあらざる異義どもを、近來はおおくおせられおうてせうろうよし、つたえうけたまわる。いわれなき条々の子細のこと。

(真宗聖典六三十頁)

最近真宗の教えの説き方が変わってきたと云われるが、説き方が変わるの当然だが、他力の信

心ということが間違えなければ問題ない。時代に相応してどのような説き方に展開してもよい。しかし、他力の信心ということがはっきりしないならば、真宗の教えといつても、真宗の匂いのする論評や思想というものになつてしまふ。それは救いにならない。我々が救われるということが大事である。

苦悩の生活を余儀なくされているものが縁を頂いて教えを聞くことによつて救われる。その救いの内容をはつきりするということが根本である。教義を知識的に勉強するということとは質が違ふ。自分の救いははつきりしないまま教義を知識的にいくらつめこんでもそれは仏教インテリ(仏教知識人)になるだけである。

色々な苦しみに出遭つていくけ

光照寺寺報  
 発行所 宗教法人光照寺  
 〒331-0821 さいたま市北区別所町102-2  
 電話：048-651-2781(代)  
 FAX：048-651-2753  
 E-mail yasuragi@beige.ocn.ne.jp  
 ホームページ http://www8.ocn.ne.jp/~koshoji  
 発行人 池田孝郎

れども、その苦しみがお念仏で翻る。転悪成徳のはたらきと頂く。愚かな私であるが、未来を光の未來として受け取つて生きて、決して絶望など致しませんという人に自分がなつていくかどうか。

物知りを目指すのではなく、本当に救われた人間になるということを目指して聴聞することが大事だということが『歎異抄』の底に置かれて話すがすんでいる。学問しなければダメだと異義を唱える人はそのことがはつきりしないから学問にこだわるということも『歎異抄』には書かれていた。親鸞聖人が亡くなられて三十年位の間に色々な異義が出てきた。それを聞いて『歎異抄』を書いた唯円がおり、そして今日まで伝わってきている。それによつて我々は自

分の信心が親鸞聖人の信心と同一であるのかどうかを鏡として考えさせて頂く。また、親鸞聖人の教えに触れる契機を『歎異抄』によつて見出させて頂く。

異義八ヶ条を学ぶということは単に昔このような異義を唱えた人がいるということを理解する学び方ではなく、自分はどうであるかということを自分に問うご縁として学んでいくことが大事である。(当寺)法話抜粋要約、文責副住職 釈徹照



修正会

● 目録の旅行記  
 ● 春季彼岸会法要

三月二十日(水)時三十分

厳修

詳細は四頁

詳細は五頁

# むげこう 無碍光

一凡夫が仏になる法一

住職 池田 孝郎

安倍首相は「美しい日本」を掲げ、教育基本法の中に「愛国心」を盛り込み、呼び覚まそうとしてゐる。今回のテーマとして「愛」について考えてまいりたい。

私は下手なりに「四季の歌」が好きです。春夏秋冬の中に「友達」「父親」「恋人」「母親」の愛を語る歌詩です。何か日本的であり、世界に共通する愛のデリカシーを感じる。日本人の心の原点にある愛の象徴的言葉から、心理学、哲学、キリスト教、仏教、そして親鸞聖人と尋ねてみたい。

まず、日本人の心の原点の愛の

言葉を探ねると憶い出すのは、私の幼い時母がよく言っていた言葉が象徴すると思う。それは「焼け野の雉子 夜の鶴 子をおもう親の心は唯ひとつ」である。

この歌の心は野原に雉の巣があり、そこに雛がいる。野火の猛火が雉の巣に接近してくる。親雉は巣の上に羽を広げて覆い、自ら焼け死に、野火が燃え去ったあとに、黒焦げの親鳥を反すと、雛が小さな声を出して生きていた、という内容です。これは、子のために親が自己犠牲となって、子を助けるとした意味を語る。

私はここに真の愛の意味が語られていと思う。真の愛の姿は「自己犠牲」が伴うものであると。四季の歌から「友達」を連想すると、「走れメロス」の「千人めの友」です。それは、友人がメロスのかわりに「断頭台」に立つという話です。やはり至純なる友情も自己犠牲を通す様です。

心理学では、深層心理の提唱者フロイトは「性愛」にあるとした。そこに人間の苦悩の根源があると指摘したが、弟子のユングは深層心理の現われとして「夢」があると指摘し、フロイトとユングは夢に共感するも、人間の深層は性愛だけではないとするとところで学説がわかれた様です。一説にはユン

グの学説の前半は理解できるが後半部分はユングが何に言いたいのが分からないとされている。

私が推測すれば、ユングは東洋思想を学び、禪に触れ、仏教の唯識よりヒントを得て、第七識のマナ識、第八識のアラヤ識の存在を知って、深層心理を展開したものと受け止める。これでは個としての「自己愛」と、大なるものの「慈愛」の葛藤が生じ、整合出来なかつたのではないかと思う。

哲学ではプラトンが「純粋な愛」はエロス(神の慈愛)であるとし、肉欲を離れ、精神的至純に昇華するものとして高次へと解放放つ。これを「プラトニックラブ」と表現されている。このプラトンの理想は、現実の肉体から遊離し、解離して理想郷に愛を位置付けてしまっている。

キリスト教では神の愛を「アガペー」といい、神の自己犠牲をもって迷えるすべての罪人を救うと表現している。ここには「アガペー」と「タナトス」(ギリシャ語で死)は表裏の関係が暗示されている。これはイエス・キリストが十字架に架けられた時、イエスは神の言葉を語ってきたこの私を「何故、神、我を」と発したという問題が提示される。しかし、すぐその後でイエスはすべての人々

の罪を自らの血をもって「贖う」といわれたという。ここをもってイエスは神の国に行き、そして、復活されたという。ここにもイエスの自己犠牲が他を救うと語られる。

仏教では「愛」と「憎み」は表裏の関係にあるとして、愛は「自己愛」であり、「執着」であり、「我愛」、「我慢」、「貪愛」、「渴愛」とする。そして、四苦八苦の中に「愛別離苦」として、愛する人と離別は「苦」であると教える。迷い苦しみの輪廻の轡から解脱し、覚りの境地として涅槃を「示す」。この涅槃は「滅度」といい、生死を超えた世界です。

しかし、「和顔愛語」をもって如来の慈悲の表現として「慈愛」を語る。愛は悲(カルナー)です。親鸞聖人の苦悩は「人間の根本苦」を自己の苦悩として、聖徳太子の本地としての救世観世音菩薩が聖人の夢想に現われて、有名な「女犯偈」の文、「行者宿報説女犯我成玉女身被犯 一生之間能莊嚴臨終引導生極楽」と告命したまう。

この救世観音の誓願を聖人は夢告にうけ回心された。この「宿報」の感得より一切の救済の確信を得る。現実立脚した人間凝視の根本苦からの救済を覚り、「唯、念仏」の道を開示したまう。合掌



報恩講 お齋



報恩講 講師の樫先生

### 小さな窓から

2007年1月4日昼食前トイレの前で倒れる。「救急車はいやだ」というのを無理やりA病院に運ばれる。原因は判っている。貧血、食欲不振、脱水によるめまいである。兎に角一週間で退院。めまいは相変わらずだが寝起きが少し楽になっている。足は水攻めでお餅をくっ付けたように腫れあがつて入院中は治療はしてくれない。「これは入院の理由になりませんかから外来として改めて治療をうけてください」と、水攻めで原因を作っておきながら帰るときに小さい錠剤を2つぶくれたのみ。1週間刺し放しの針を抜いた後に張つてあるテープを別のナースが何を思ったかすぐはがしてしまう。出血に気が付いたときはふとんもパジャマも血だらけ。入院初日から「便秘ですから薬を下さい、流腸してください」と頼むのに「ハイハイ」といって、晩に飲まされる1錠の薬の中に

睡眠薬、便秘薬、食欲増進剤もみんな入っていますと1粒だけくれた薬は、「ハイ口開けてアーンハイお水」で済まず。絶対にこちらの自由にはならない。

ソロソロ普通の病人室とは違っている事に気が付き始める。見舞いにきた娘に話すと普通だという。テレビは2台付けてあるのに部屋にはテレビがないという。どんなに説明してもないといつて聞かない。

6日目我慢が出来ないので「もう死んでも良い」と3時間汗と涙でがんばつてやっと指の先くらいの便とおならが出て、トイレの出口にいた男の看護師とけんかをしてしまう。今度こそ医者への冷酷を感じた事はない。「便秘です」といったら一応処置して後は自然に出す法を教えると言うのが順序ではないのか。

退院の時は持つて行った便もみんなおなかに入れたままお持ち帰りである。退院ボケというか、まだ頭がボーッとして話すことはばかばかしく

てみんな相手にしてくれない。娘が「内ではいいけれど、人には話さないでね」というので約束する。何も知らないはずのある法友から電話があつて、久しぶりに人間の言葉に出会ったような気がした。いつも喧嘩ばかりして絶交されたと思つていたのにケロリとして「私絶交だと思つていたのに」「わたし絶交なんかしてはいないよ」勿論お念仏以外の話はしない。

恐怖心というかこのメールも今度開いたら無かつたと言う事もあつたような気がする。何かの憑かれていた。これだけ打つのに今までの3倍5倍かかつたもの。

これが退院後の初めての日記です。

渋谷恵美子

### 鈴の音

死を見失っている  
私たちは、今日は  
まさに「生」をも  
深く見失っている。

高 史明(「死の海は深く」)

# 日帰り旅行記

副住職 池田孝三郎

昨年十一月四日(土) 大人十八名、子供五名の総勢二十三名で、長野県は小諸市に「林檎狩りとパーベークューの集い」という企画で日帰り旅行に行ってきました。

今回の企画に到ったのは、例年開催される年に一度の光照寺の旅行は一泊以上の宿泊なので、日帰り旅行だったら参加しやすいのではないかと、また、日帰りで行ける距離であれば参加しやすいだろうという声があり、それではという事で、まず護持会役員が旅行を



私だけ見てネ



味とボリュームに大満足

盛り立て参加していくことが先決だろうということと、お寺の旅行とはどうあるべきかということをも模索する為、役員の家族や関係者を対象に企画されたものです。

山田会長をはじめ、三役の皆さんのご尽力、また、旅行発案者で今回の企画の内容の幹事を引き受けて下さった川澄さん、役員皆さんのご協力に感謝申し上げます。

今回は小学生の子供さんが参加されており、私がバスの中で何か話してくれと頼まれていましたので、「かえるの歌」と「森のくまさん」の替え歌を念仏バージョンで歌ったのがウケて、大人も子供もバスで念仏を大合唱しているという希有な旅行で楽しかったです。



グラビアデビュー



だんごショット

旅行の内容を詳しく書くには誌面が足りませんので、是非お寺の旅行にご参加下さり、他では味わえない醍醐味を味わって頂きたいと思っています。



役者揃って ハイ・チーズ



大好きなおばあちゃんと

# お彼岸

痛ましい限りの事件がシャワーのように報道されれば、この世には悲劇がなく、まさしくメディアを通して地獄絵図を見るようでもあります。残念なことにそれらは水山の一角で、水面下は苦悩の渦巻きに飲み込まれ、もがいても陽を見ることがなくただ息をしてかろうじて生きているのが現代ではないでしょうか。そのようなこと

は極端な想像ではなく現実につきつけられています。お彼岸週間は我々が住んでいるこの迷いの世界から解放されたいというのを切に問う期間です。「苦しみ、悲しみ、不安、恐れ、寂しさ、空しさということに避けて生きてきた。それらがなくことが幸福だと思ってきた。しかし、それは違うのではないか、避けていきたいことと向き合うことが真に解放されていくのではないか」という、薄々感じていることを仏法に照らして掘り下げている期間がお彼岸週間ではないかと思えます。

最近読んだ本に「老後」のことは必死に考えるが、必ず死んでい

く「死」の問題に必死になつていないとありました。「必死」という字からして、必ず「死」という問題にぶつかるから明らかにしなさいという意味が込められているかもしれません。「無量寿」（いのちの長さに関わりのない）の世界を生きよという声を聞いていきましょう。

副住職（釈徹照）



## 春季彼岸会法要

- ・3月21日(水) 春分の日
- ・午後1時30分～3時30分まで (1時受付)
- ・光照寺本堂にて
- ・勤行・法話

※準備の都合上、出席人数をご連絡下さい。預骨されている方は率先してお参り下さい。ご参詣をお待ちしております。

## 彼岸参り

・3月18日(日)～24日(土)の期間 (但し21日は除く)

※ご希望の日にちをお知らせ下さい。時間につきましてはこちらで調整させていただきます。ご自宅か当寺のいずれかで読経いたします。

## ひとくち 歎異抄

羅漢：人間の信頼とはいかに。「よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかに別の子細なきなり」。第2章



法然聖人にだまされて、念仏して地獄に落ちたとしても後悔しない。

川越喜多院の五百羅漢

# お知らせ

寺務所より

## ◆法要のご案内

### ●春季彼岸会法要

三月二十一日(水)、午後一時三十分より厳修。詳細は五頁参照。  
ご家族そろってご参詣下さい。

## ◆聞法会のお知らせ

### ●親鸞聖人のみ教えに聞く会

二月二十三(金)、午後二時半〜四時半まで。講師は櫻暁先生。和讃を学んでいます。

### ●大経の会

二月二十五日(日)、三月五日(月)、四月十六日(月)、五月二十七日(日)は護持会総会。午前十時〜午後二時まで。細川巖著正信傷讃仰(二)を学んでいます。お弁当持参して下さい。

### ●我聞の会

二月十三日(火)、三月十四日(水)、四月五日(木)、五月九日(水)、午後二時〜四時まで。真宗の簡要を学んでいます。講師は住職。

### ●さいたま親鸞講座

テーマ 親鸞の仏教「うかがひがある私の課題」四月七日(土)、六月十六日(土)、午後二時〜四時まで。講師は四衢亮先生(岐阜県不遠寺住職)会場 仲町川鍋ビル八階会議室(さいたま市大宮区仲町二一六〇)会費一回千円。市民公開講座です。

### ●真宗のつどい

四月十二日(木)、六月十四日(木)、

午後二時〜四時まで。講師は富岡秀善先生(新潟県園徳寺住職)会場、埼玉県内の寺院。ご参加の際は、お寺にご連絡下さい。

### ●お願い

ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。宜しくお願ひします。



## 俳句

吉沢 光昭  
亥年明けプラス指向を一直線  
初雪や嶺のワインの甘露かな

(馬頭刈山)

西木 順子  
熱爛の旨さを増す酒盗かな

布施 毅夫  
猩猩の大羽子板や舞台好き  
煤竹の高きを拝む浅草寺  
浅草の鐘を囲みぬ銀杏の黄

布施 毅夫

書初めや墨を散らして仕上りぬ  
門札や素直に言へぬこと一つ

古里の海鳴りおこす冬心耳  
年玉や英和英の辞典たり  
かの人の賀状を待つはさびしかり

花岡 要

人歩き幹立並ぶ落葉かな  
一枚の枯葉とわれと何異なる

山田 恒

娑婆の風歩巾を少し狭く生き  
雨上りプラス思考の風を待つ

釈 義深

凡夫とは地獄に住みし仏かも  
鴻鶴は馬鹿と見られる大物ぞ  
門徒物知らずとは今また同じ

ままならぬ見守るだけの親心  
撰取不捨喜び聞きて膝さすり

篠原 潤子

## 短歌



田中 徳子  
日に新たに心新たに念仏すみ親の大  
悲深く慕いて

赤秀 品枝

亡きひとはなんと言うらんこの現実  
千の風にて我が前にいる  
仏前にまごころありやと問うてみる  
願患の炎さかまく我には

布施 毅夫

君たちが楯と死にたるこの国の平和  
尊しひめゆりの塔  
終焉の年忌を迎え心さわぐ今際の頬  
の氷雪のこと

胃カメラを飲みて結果の嬉しかり忘  
年会をのりきれそう  
屋上に寒波はためく干物のノロウイ  
ルスも払い飛ばせり  
初富士におももじしたく旅立てば朦  
朧体から一筋のひかり

篠原 潤子

街中で急に膝痛おこりきてビニール  
傘を杖がわりに買う

駅の中つかまり棒のあるトイレ膝痛  
の我急ぎかけこむ  
一本の綱を渡せし阿弥陀さま離して  
もまたすぐ下さる  
不思議だア我儘気ままの私でも包ん  
で下さる弥陀のお光  
捨て果てし一遍さんの生きざまに近  
づきたいが願ひも虚し

## 梵鐘



花岡 要 画

災害弱者対策の為のリスト作りが過剰な個人情報保護意識の為に遅れている。阪神大震災では犠牲者の半数以上が六十才以上の人達であり、身体障害者の死亡率は健常者の六〜十三倍に上った。その後も大規模災害のたびに高齢者や障害者らの逃げ遅れが問題になっている。内閣府は本人の同意を得なくても情報を関係機関に提供し担当者が直接訪問して個別の避難計画を作る方式を推奨している。登録漏れを無くすには躊躇や手間を惜しむことは許されない。災害時には支援の担い手を増し弱者一人に複数の支援者を組み合わせた。東京都荒川区は高齢者らをおんぶやリヤカーで救い出す「おんぶ隊」を組織している。災害弱者自身も近所や関係団体との連絡を密にし、自らの状況を常日頃から知っておいてもらい、感謝の心で支援を受けられるようお願いしたい。

(三輪民子)